

近江大橋以南の琵琶湖および瀬田川における

チャネルキャットフィッシュの分布

三枝 仁・田口貴史・酒井明久

1. 目的

近年、琵琶湖南湖でのチャネルキャットフィッシュの捕獲数が増加する傾向にあることから、近江大橋以南の琵琶湖と洗堰上流側の瀬田川において本種の生息状況を調査した。

2. 方法

調査は、瀬田川洗堰から近江大橋付近にかけての水域を8区画に分けた調査地点を設定し(図1)、平成30年7月25日から平成31年3月26日までの間に8回、長さ500mで針数60本の延縄を各地点1鉢ずつ設置した。

3. 結果

調査での捕獲数は計27尾で(表1)、地点ごとの捕獲数をみると、瀬田川洗堰に近い地点ほど多くなる傾向が見られ、国道1号線の瀬田川において本種の生息状況を調査した。

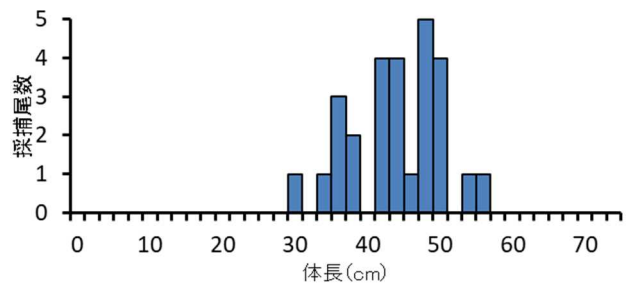


図3 体長組成 (n=27)

橋より上流での捕獲はなかった(図2)。

当調査で捕獲した個体のサイズは、体長28.6 cm~54.7cmで(図3)、27個体中20個体が本種の産卵可能サイズと言われる体長40cmを超えており、実際に一部の個体では成熟した生殖腺が観察された。

また、当調査水域について、ストラクチャーキャン機能付き魚探(LOWRANCE HDS-7 gen2 touch)を用いて水底の地形を調べたところ、捕獲数が多かった地点は他の地点に比べて水深が深く、かつ底が起伏に富む特徴を持っていることが判った(図4)。

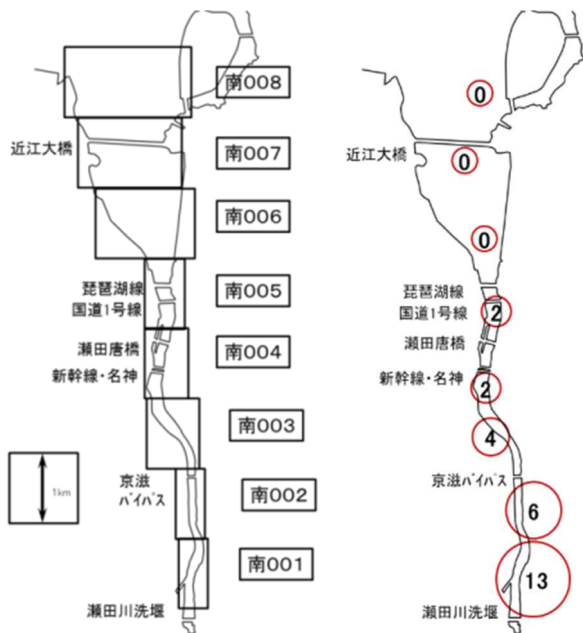


図1 調査地点

図2 捕獲状況

表1. 調査日ごとの使用針本数と調査地点別捕獲尾数

調査日	使用針本数	捕獲尾数								計
		瀬田川				琵琶湖				
		南001	南002	南003	南004	南005	南006	南007	南008	
7月25日・26日	480	5	2	1	1	0	0	0	0	9
8月1日・2日	480	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月8日・9日	480	2	2	1	1	1	0	0	0	7
8月16日・17日	360	4	2	1	0	0	0	-	-	7
9月6日・7日	480	0	0	0	0	1	0	0	0	1
3月4日・5日	480	1	0	1	0	0	0	0	0	2
3月11日・12日	480	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月25日・26日	480	1	0	0	0	0	0	0	0	1
計	3,720	13	6	4	2	2	0	0	0	27

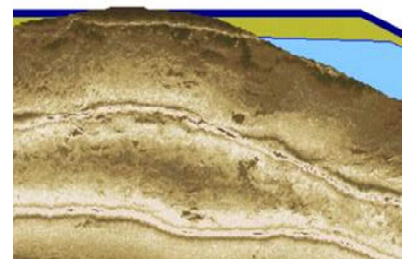


図4 魚探映像から作成した地形画の一部(南001地点の一部)